

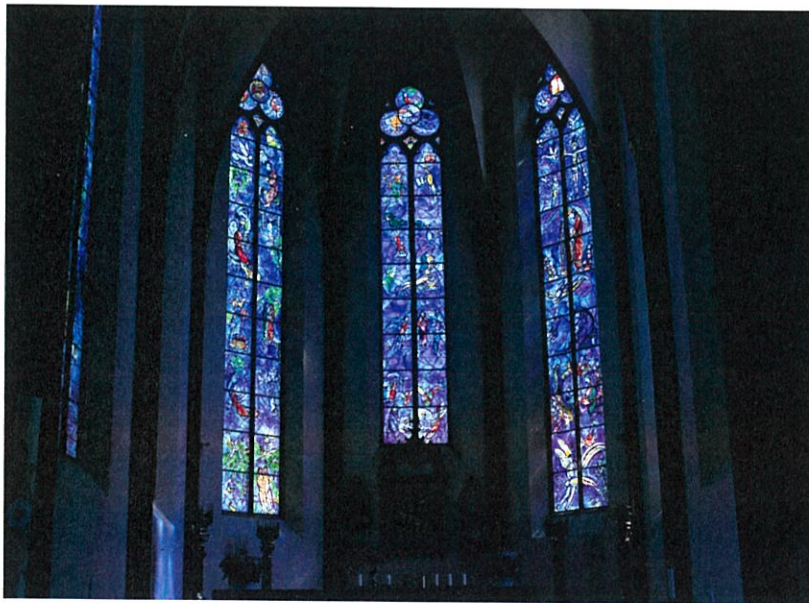
# Mainz 大学での滞在を終えて

理学系研究科物理学専攻 博士課程 2 年 藤田浩之

今回、ALPS の海外派遣プログラムを利用し、2017 年の 4 月末から 7 月末にかけて、ドイツの Mainz 大学 SPICE (Spin Phenomena Interdisciplinary Center) に滞在した。

Jairo Sinova 氏率いる SPICE は、スピントロニクス研究の一大拠点であり、特に最近では  $Mn_2Au$  や  $CuMnAs$  といった反強磁性体を用いたスピントロニクスの研究で世界をリードしている。現地では、O. Gomonay 氏、L. Šmejkal 氏とともに、反強磁性 Dirac 物質の Domain wall の性質に関する研究を行った。自身の研究の幅を広げるための派遣先選択だったが、反強磁性体スピントロニクスへの理解を深めることができ、新しい結果も得られるなど非常に有意義なものになった。

今回の海外派遣をサポートして下さった ALPS 関係者の皆様、現地での滞在中にお世話になった SPICE の方々に深く感謝申し上げます。



シャガールの手による、Mainz 聖シュテファン教会のステンドグラス